

事務事業名	市子どもクラブ指導者連絡協議会支援事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12402				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦				
			所属担当	青少年担当	担当者名	長谷部寿仁				
基本政策	基本計画	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 03	細目 030	細々目 23
政策	24	青少年の健全育成	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	38	健全育成支援体制の強化充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠	南アルプス市青少年対策事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市子どもクラブ指導者連絡協議会補助金 地域に根ざした子どもクラブ活動の活性化と安全教育の徹底を図り、魅力ある子どもクラブのあり方に努める。平成24年度からは子どもクラブ親睦球技大会関係予算も協議会予算に盛り込み、補助金額を増額し一本化を図った。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 協議会・協会・団体補助金 437						
				計 437						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	市子どもクラブ指導者連絡協議会への運営補助	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
25年度活動実績	市子どもクラブ指導者連絡協議会への運営補助		名称 単位
26年度活動予定	市子どもクラブ指導者連絡協議会への運営補助		ア 子どもクラブ数 人
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市子どもクラブ指導者	⇒	イ 講習会、研究会等開催数
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	会員相互の協力と研究により、市内子どもクラブ及びジュニアリーダー会の健全育成を図る。	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	青少年の健全育成	⇒	名称 単位
			ア 子どもクラブ指導者数 人
			イ 講習会、研究会等参加者数 人
			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
			名称 単位
			ア 家庭や地域ぐるみの青少年教育について満足度調査 %
			イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
			(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	137	437	437	437	437	437	
	事業費計(A)	千円	137	437	437	437	437	437	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	5	5	5	5	5	5	
	人件費計(B)	千円	23	23	23	23	23	23	0
	(A)+(B)	千円	160	460	460	460	460	460	0
活動指標	人		1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	
対象指標	人		75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	
成果指標	人		1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	
上位成果指標	%		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前から。会員相互の協力と研究により市内子どもクラブ及びジュニアリーダーの健全育成のため。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	変わっていない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	参加者アンケートの結果では、「また参加したい」「楽しかった」などの意見が多数であったが、「もっと違う企画を考えてほしい」などの意見もあり、研修内容の変更も必要である。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	前年のアンケートで研修内容の変更希望が多くあったため、研修内容を変更した。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	子どもクラブ球技大会の種目についてアンケート調査等を行い、来年度からソフトボール・ソフトバレーボールからドッジボールに種目変更をすることにした。

事務事業名	市子どもクラブ指導者連絡協議会支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域に根ざした子どもクラブ活動の活性化、安全教育の徹底を図り、魅力ある子どもクラブのあり方に努めている。青少年の健全育成に地域社会が果たすべき役割を認識し、子どもクラブの充実発展のために指導者の拡大と資質の向上を目指
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 次代を担う青少年の健全育成のために多様化する青少年の問題に市民全体で取り組むため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内の子どもクラブ指導者に適切に限定されている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 子どもクラブ活動の精査を図ることによって、健全育成の幅が広がっていくことが期待できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 会員相互の協力と研究により、市内子どもクラブ及びジュニアリーダー会の健全育成ができなくなる。 同 左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の経費であるため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 予算は補助金の支払い業務だけだが、市子連の事務局を青少年担当が担っている現状である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全域の子どもクラブ員を対象としているため。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市からは補助金交付のみとし、事業は市子連予算で一本化している。役員の協力のもと、多くの子どもが参加できる体制を図って欲しい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について H25年度において球技大会の種目についてアンケート調査を実施した。結果としてソフトボール・ソフトバレーボールからドッジボールへ種目変更となる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 H26年度から種目変更される予定となるが、どのくらいの地区からどのくらいのチーム数が出てくるか問題である。その結果によってまた検討が必要になるかもしれない。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ②																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑪																					